

ユネスコ アジア太平洋無形文化遺産研究センター 開設記念シンポジウム

危機に瀕する無形文化遺産の 復興と継承を考える

平成23年10月3日、堺市博物館内に、(独)国立文化財機構の7番目の施設として、新たにユネスコが賛助するアジア太平洋無形文化遺産研究センターが開設されることを記念し、ユネスコが推進する無形文化遺産の保護に関するシンポジウムを開催します。

今年3月11日に発生した東日本大震災をはじめ、国内外において無形文化遺産の存続を脅かす事象が頻発する中、無形文化遺産の保護と復興のために、今後、日本や地域社会がどのような役割を果たしていくべきかを考えます。

併せて、東日本大震災の復興支援の思いを込めて、被災地の岩手県花巻市から、平成21年にユネスコの「人類の無形文化遺産の代表的な一覧表」に記載された早池峰神楽(はやちねかぐら=写真右=)の演者の皆さんをお招きして、芸能公演を行います。



日時

平成23年10月4日(火)
13:30~16:00(13:00開場)

会場

リーガロイヤルホテル堺4階
ロイヤルホール
(電話 072 - 224 - 1121)

定員

300人(参加無料)

申込

9月2日から受付開始
(詳しくは裏面をご参照ください)



主催 文化庁、(独)国立文化財機構アジア太平洋無形文化遺産研究センター、堺市
協力(予定) (独)日本芸術文化振興会国立文楽劇場
後援(予定) 外務省、日本ユネスコ国内委員会、大阪府